

1 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

令和7年度

第二百日紅の家

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のミーティング、ケア会議において理念を大切にして、理念に従った介護を行い気になる事などあればすぐ話し合いを行い、できる範囲で、地域の方たちにも協力して頂き、行事など共同で行うようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	秋祭りや炊き出し訓練に加え、認知症カフェなど地域の方にも参加していただき交流を持つように努め、グリーンハイツに住んでいる職員は福祉協力員となり、見守りたいを結成し人々と交流する場面作りをしている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前のように年6回のうち3回は3事業所合同開催とし、事業所の報告、推進会議にて外部評価を行い話し合いサービスの向上に活かしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所の担当職員にお便りなどでホームの内情を理解してもらい、分からない事などがあれば相談し、人権認知症擁護研修会の講師、社会福祉協議会の役員もしているなどお互い協力できる関係になっている。”			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束検討委員会は3か月に一回定期的に外部の講師を招き代表者、職員が交代で勉強会を行うなど、職員全員が日頃から身体拘束、さらに言葉の拘束について理解を深め、その人らしく、その方の思いに沿った自由な暮らし、安心して過ごせるようなケアを行っている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	待ってもらう理由を伝え理解してもらい言葉の拘束にならないような声掛けが行えている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6 ヶ月に一回虐待の研修会の参加、職員全員で学習会などする機会を多く持ち、理解を深め、利用者の日々の様子の変化、言葉の虐待などないかしっかり把握している。又、虐待は職員のストレスによることが多いのでストレスをため過ぎてはいないか、想いをしっかり受け止め配置転換を考えたり、現場職員のストレス限界を理解している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員同士話し合いを行い、勤務時間を見直すなどし、職員間でフォローしあい、ストレスがたまらないように工夫している。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会に参加し、そのあとすぐ全職員に説明し、当たり前の生活、安心して過ごせる生活が出来、必要な利用者がある場合は全職員が対応できる体制をとっている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には事業所において対応可能な範囲を十分説明行い、家族等にも一緒に協力を求め、納得して頂き、契約の改訂をする場合などもしっかり納得いくまで説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回推進会議を行い、お便りにて家族さんに日々の報告をし、家族さんからの意見等を聞き、利用者の不安、思いを察する努力をしている。利用者からも気軽に意見が言える雰囲気を作り思いに沿っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真付きお便りは家族にとっては安心できると思う。家族、入居者や地区の人などに参加してもらい、意見を取り入れることで運営の改善に努めている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	統括管理者は毎朝顔を出して職員に声を掛け思いなど聞く機会を設け、管理者も、気軽に意見が言える雰囲気を作り、ささいな事でも耳を傾け、話を聞き、早期に改善することでより良いホーム作りを目指している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は細やかな気配りで職員一人一人の様子を伺い、本人と個々の面談したり、管理者は勤務日や時間、個々の事情に合わせ柔軟に対応している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員と面談を行っている。些細な変化があれば声をかけ、フォローを行っている。職員の表情、家庭環境をよく見て働きやすい職場を作っている。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の能力を活かし、伸ばせるような研修や資格習得など積極的に勧め、能力の向上に努め、研修報告はケア会議の際全職員に発表し、常に勉強会を行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各職員にあった研修を行い、新たに入った職員にはヘルパー研修に参加してもらっている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同じ法人内で、交流する機会をもち、月一回リーダー会を行い日々向上に努めている。また、法人内で行う研修会、推進会にも他のグループホームも参加している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はひとつの家族と言う理念に基づき協力しあい、その方の思い、苦しみ、喜びなどを知り、出来ることは自分で行ってもらい、しかしいつも目は離さない、安心して過ごせる居場所を作っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染の美容室、商店、昔住んでいた家、知人、友人等の家に行き催し物に出かけ、季節の花を見にドライブに出かけ馴染のものとかけ離れない生活を目指し、継続的な交流ができるよう支援している。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人のペースを最重要視し、本人の意見を聞き、今やりたい事など個別に対応し、意思表示が困難な方には日々の会話の中で感じ取り、家族や関係者からも意見を聞くようにして思いを大切にしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の統括管理者も含めた全職員参加のケア会議にて話し合い、家族、利用者より意向を聞くなどし、状態変化が見られたら直ちにご家族、職員と一緒に話し合い臨機応変に見直しながらより良い介護計画を作		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見を聞く所に具体的数字が入るとなおよいと思う。

				成している。			
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員に情報がいきわたるように毎朝ミーティング、申し送りノート、SNS など利用し情報共有し、日々の様子、新たな気づき、状態変化は必ず個別記録に記載し、ケアプラン見直しに活かしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	些細な気づきを職員に書き出してもらい、職員のストレスなど早期発見し、改善できるように努めている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診時の報告、状態変化など随時話し合いを持ち、また家族とも相談しながら柔軟な支援を心掛け、ドライブや自宅へ寄るなり、その方の要望に沿った支援を行っている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染の店に行ったり、行きつけの美容院、買い物などにでかけ、地域での催しがあれば出かけたり又料理作りが得意な方には台所を自由に使用し好きなものを作ってもらっている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族が希望する医療機関を受診し、かかりつけ医と連携をとり何でも相談できる関係を築いている。数日点滴が必要な場合は訪問看護を利用している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院となると、家族、病院と何度も話し合い情報交換行い、出来るだけ早く退院計画を立て、利用者、家族が安心して住み慣れたホームに帰って来られるよう支援している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	長期入院した際には、帰り先が見つかるまで協力するように努めている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族、本人と話し合いを持ち、家族の意向、事業所で出来る範囲を説明、事前指示書の作成、家族の意向に沿った支援、その他の機関と協力体制を取り、看取りを前提とした体制を整え、看取りの介護マニュアル作成している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者全員に事前指示書を記載してもらい、重度化や終末期のあり方について準備が行えている。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時に職員が落ち着いて対応できるように、応急手当マニュアル作成し、利用者一人一人の病歴などを把握し急変時の適切な対応など緊急時に備えている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCP の作成を行い、災害時の対策マニュアル、職員体制を決め入居者を交え避難訓練、地域住民にも協力してもらい炊き出し訓練など行っている。又、災害時にも使用できるように敷地内には「どうぞ」の家を隣接、第三日紅には発電機設置し災害に備えている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時には各ホームが一つの場所に集まれるようにし、災害時の訓練が十分に行えている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の尊厳を大切にし、間違いがあっても否定しない、嫌なことなどは絶対にしない、プライバシーを損ねない声掛け、自尊心を大切にし、プライバシーに関する話題などは話さない。利用者さんの近くではこそそ話などしないように気をつけている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念として「否定しない」を職員は理解している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の体調に合わせ、起床、食事時間、外出などその人のペースに添って過ごしてもらい、お菓子づくりの得意な方には自由に作ってもらい、ホールでの席なども工夫して一人一人納得出来るように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の好みを聞き、嫌いなものがあるときは代替えし献立をたて、料理の下ごしらえ、盛り付けと一緒に手伝ってもらい、同じテーブルで食事し会話を楽しみ、季節ごとの料理、時にはお弁当を作り外で食べるようにしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の食材を用いたり、職員も一緒に食事を取り、楽しみが増えるよう工夫がなされている。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事前、食事間にはお茶やジュースなど出したり、水分摂取量のチェック表を作り、多く摂取出来るようにしたり、食事量が少ない時は好きなものを食べてもらい、さらに水分量、食事量の少ない方は個別のチェック表をつくり、訪問看護師さんにアドバイスをもらっている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に声掛けを行い、自力で出来ない方には職員が助し、清潔を保っている。入れ歯を管理できない方に対しては職員が毎日朝まで預かるなどして口腔ケアをしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入れ歯を預かった際には、入れ歯の写真を残しておくことで異常（欠けなど）ないか確認を行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事前の声掛け、誘導の徹底、その方の排泄パターンを観察し、なるべくトイレで排泄が出来るような支援をしている。排便のチェック、食事、水分などにも気を付けている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを把握することで、失敗しないように心掛けている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望に沿って入浴できるように対応しています。（毎日の入浴、ゆっくり入りたい方は順番の工夫、その方に希望する時間など）拒否のある方には声掛けなどを工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出したりすると気持ちが不安定になり、寝られない方などは話し相手になったり、暖かい飲み物をのんでもらったり、自由な時間に休息してもらっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬は職員が管理し、誤薬がないよう何度も確認、服薬マニュアルを作成確実に飲み込むまで見守り行い、用法、副作用なども理解し、服薬が変更になったときはミーティング、申し送りノートなどで随時連絡し、職員会議の時などに見直しを行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬がないか何度もチェックを行い、飲み込むまで確認出来ている。自分で飲むのが難しい人には口に入れてあげるなど工夫が行えている。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の得意な事、興味のある事などを活かし、ご本人から進んでやりたい、楽しみたい、という気持ちとなるような場面作りをしている。又甘いものが好きな方には個別に用意し食べる楽しみの支援をしている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お天気のいい日には散歩に出て四季の花を探したり、本人の希望に従って買い物に出かけたり、昔住んでいた場所や、友人の家への訪問など家族にも協力してもらい出来る限り戸外へ出かける機会を作っている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金を持つことにより安心される方もいますので、本人の希望により少額程度は持ってもらい、一緒に買い物に出かけた時などは自分で支払ってもらうようにしている。本人が持っていない場合は事業所が預かっていることを伝え、安心してもらっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各自が携帯電話を持っている方、本人がご家族に連絡を取りたいという時、職員は家族に電話の引き継ぎをしていつでも連絡できる状態にいて、荷物が届いたらお礼の電話をし、大切な人とのつながりが切れないう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールから見える大きな窓は四季の草花が見え、散歩に出かけた時には季節の草花を採りホール生け、仲間同士ゆっくり会話できる席の工夫、日々楽しく過ごせるよう心掛けている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に出かけ花が好きな方は花を採り生け、散歩を楽しんでいる。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の思い、要望に応え、意向に沿えるように耳を傾けている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今まで行っていた習慣、畑仕事、台所仕事、生活スタイルを崩す事無く思いに沿っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態変化、不安に思っている事はないか。全職員が把握し気づき、必要なら受診、危ない場所があれば直ちに改善している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が気づいた事は直ちに改善している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分のペースで起き、飲みたいときにコーヒーなど飲み、毎日入浴されたい方は毎日入ってもらい、自由に散歩などされている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お気に入りの家具などできる限り持ち込み、家族の写真を飾り安心できる空間作りに努めている。料理の好きな人は自分の調理器具を持ち込んでいます。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真を皆さん飾っている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の思いをしっかりと伝える雰囲気作りを心掛け、出来る限り希望に沿って外出出来るようにしている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	得意な事を活かして役割を持ってもらい、楽しい気持ちになるような場面作りをしている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、おやつ、体操の時には職員が間に入り本人との会話出来るように声掛けを行い、得意な生け花、盛り付け、お寿司作りなど出来ることを一緒に楽しんでもらっている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る作業は協力してもらうことで、生きがい、やりがいづくりとなっている。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	出来る範囲で外に出かけ交流する機会を持っている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員とは信頼関係を築き、出来る限り本人さんの思いに耳を傾け、自由な生活、得意な料理やお菓子など作り皆さんに食べてもらう事でその方らしく暮らすことが出来るように支援している。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員と入居者同士、他人行儀ではなく仲良く、家族のように過ごすことができている。